

2023年5月19日

一般社団法人キリスト教学校教育同盟

加盟大学学長・短期大学学長・専門学校校長 各位

キリスト教学校教育同盟

教育研究委員会担当理事 山本与志春

大学部会委員長 永野 茂洋

大学部会関西地区委員長 落合 建仁

第67回全国・第64回関西地区 大学部会研究集会開催要項

■日 時 2023年9月4日(月) 13:30～16:30

■場 所 Zoomによるオンライン会議

■主 題 「希望と喜びに生きる—新たな転換期に立つキリスト教学校」

(※2022・2023年度教育研究会テーマより)

■内 容 発題(20分間×4人)と分科会に分かれての討議

■発題者とタイトル

【東北・北海道地区】

川島 堅二氏(東北学院大学文学部総合人文学科教授)

「キリスト教学校における宗教リテラシー教育の実践について—とくにカルト予防の観点から」

【関東地区】

下田尾 治郎氏(敬和学園大学宗教部長)

「地域に根差す小大学の課題」

【関西地区】

高木 総平氏(中部学院大学宗教主事 岐阜済美学院主教総主事)

「キリスト教教育への問いとしてのカルト問題—カルト(問題)カウンセリングから学んだこと」

【西南地区】

樋口 紀子氏(学校法人梅光学院理事長・学院長、梅光学院大学学長、梅光学院中学校・高等学校校長)

「『建学の精神』に基づいたキリスト教教育の試み—教職員伝道チームによる中高大連携プログラム」

■司会・コーディネータ 落合 建仁(金城学院大学文学部准教授・宗教主事)

主の御名を賛美いたします。

本年度の大学部会研究集会を、関西地区の担当により開催いたします。今年のテーマは、2022・23年度のキリスト教学校教育同盟教育研究委員会のテーマと同じ、「希望と喜びに生きる—新たな転換期に立つキリスト教学校」を掲げました。これは、今回の研究集会を計画していく中で、コロナ禍とその影響をはじめ、ウクライナ情勢や旧統一教会問題など、「予測不可能な時代」における課題が大変多岐にわたること、そしてそれらを「共有」することの重要性について、議論がなされたことを踏まえたことによります。

そこで、今回は、各地区からお一人の先生をご推薦いただき、川島堅二氏（東北学院大学文学部総合人文学科教授）、下田尾治郎氏（敬和学園大学宗教部長）、高木総平氏（中部学院大学宗教主事 岐阜済美学院宗教総主事）、樋口紀子氏（学校法人梅光学院理事長・学院長）を発題者としてお迎えいたします。また、分科会に分かれて参加者が討議することのできる場も設けることといたしました。

各地区の諸加盟校の様々な取り組みをうかがい、情報を共有できる時として、有意義な研究集会となるものと思っております。つきましては、オンラインでの開催となりますが（なお、後日配信はいたしません）、本研究集会の企画意図をご理解たまり、教員・職員を問わず一人でも多くの皆様のご参加をお待ちいたしております。各学校の上に、主の豊かな恵みをお祈り申し上げます。

教研大学部会全国委員

委員長	永野 茂洋	(明治学院)		
委員	日高 嘉彦	(北星学園)	原田 浩司	(東北学院)
	落合 建仁	(金城学院)	樋口 紀子	(梅光学院)

教研大学部会関西地区委員

委員長	落合 建仁	(金城学院大学)		
委員	池田 美芽	(大阪キリスト教短期大学)	小崎 眞	(同志社女子大学)
	越川 弘英	(同志社大学)	高木 総平	(中部学院大学)
	高見伊三男	(名古屋学院大学)	中野 敬一	(神戸女学院大学)
	打樋 啓史	(関西学院大学)		

プログラム

13:30~13:50	開会礼拝、挨拶
13:50~15:10	発題 4人(1人20分)
15:10~15:20	休憩
15:20~16:20	分科会に分かれて討議
16:20~16:30	閉会祈祷

参加費： 無料

申込期日： 8月21日(月) 必着

申込先： キリスト教学校教育同盟

所在地 〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18 日本キリスト教会館 72号室
電話 03-6233-8225

Email info@k-doumei.or.jp

申込方法： 別紙申込書をメールにて同盟事務局までお送り下さい。

要項・申込書は同盟ホームページ (<http://www.k-doumei.or.jp/>) → 「教職員の方」 → 「同盟事務局」 → 「各集会案内・連絡事項」 からダウンロードできます。

その他： 「大学部会研究集会」のご案内は、各学校へ1部送付しておりますので、不足の場合はお手数ですが、必要枚数をコピーいただきご配布くださいますようお願い申し上げます。

【講師略歴】

川島 堅二(かわしま けんじ)氏 (東北学院大学文学部総合人文学科教授)

(略歴)

1958年東京生まれ。東京神学大学大学院修士課程修了、東京大学大学院人文社会系研究科博士課程単位取得退学。博士(文学)。日本基督教団正教師。恵泉女学園大学人間社会学部教授、学長等を経て現職。専門は宗教学・宗教思想。日本脱カルト協会顧問。

【主な著書・論文】

(論文)『神は今も語るのかー預言カフェと新使徒運動についての批判的考察』東北学院大学論集『人文学と神学』第18号、2021年

(共著)『徹底討論!問われる宗教と“カルト”』NHK出版新書、2023年

下田尾 治郎(しもたお じろう)氏 (敬和学園大学宗教部長)

(略歴)

国際基督教大学、慶應義塾大学大学院を経て、1993年、東京神学大学大学院博士前期課程終了後、日本基督教団の教師となり、銀座教会、大町教会、田浦教会に仕える。2014年より、敬和学園大学人文学部宗教部長(チャプレン)、国際文化学科教員。

【主な著書・論文】

(著書)『牧師とは何か』(共著、日本キリスト教団出版局、2013年)等

(論文)『エーバーハルト・ユンゲルの自然神学理解』等

(翻訳)D.L.ミグリオリ著『現代キリスト教神学(上)』(日本キリスト教団出版局、2016年)等

高木 総平(たかき そうへい)氏 (中部学院大学宗教主事 岐阜済美学院主教総主事)

(略歴)

1980年同志社大学神学研究科博士課程前期修了、11年間日本基督教団教会の伝道師、牧師の後、松山東雲中学・高校宗教主事、松山東雲女子大学宗教主事、2011年に退職後、6年間牧師を務める。その後2017年より現在の岐阜済美学院中部学院大学に勤める。1980年代半ばよりカルト問題に関わりカウンセリングを始める。また同時期よりいのちの電話の委員として相談員の教区訓練に当たる。臨床心理士、岐阜いのちの電話副理事長、京都いのちの電話研修員、元愛媛県臨床心理士会長、元愛媛県自殺防止委員。

【主な著書・論文】

『ひとりで悩まずに いのちの電話』(共)2001 ほんの森出版

『臨床心理学的地域援助の展開』(共)2001 陪風館

『キリスト教教育への問いとしてのカルト問題』(単)2003 松山東雲女子大学人文学部紀要 第11巻

『カルトー心理臨床の視点からー』(共編集)2008 現代のエスプリ 490号

『自殺予防いのちの電話』(共)2008 ほんの森出版

樋口 紀子(ひぐち のりこ)氏 (学校法人梅光学院 理事長・学院長、梅光学院大学学長、梅光学院中学校・高等学校校長)

(略歴)

1958年北九州市生まれ、梅光女学院大学文学部英米文学科卒業、米国アズサパシフィック大学大学院留学、梅光女学院大学大学院文学研究科英米文学専攻修士課程修了、九州バプテスト神学校専攻科卒業。

2002年 単立折尾クリスチャン・チャーチ牧師、2002年 梅光学院大学宗教主任(2012年まで)、2012年 梅光学院大学学長、2017年 学院長、2018年中高校長、2021年理事長。

【主な著書・論文】

『三浦綾子の癒し』中川書店、共著

『芥川龍之介の癒し』中川書店、共著、他